WebHOC利用規定

WebHOC（以下「本サービス」という）は、りそな決済サービス株式会社（以下「甲」という）が、AGS株式会社（以下「乙」という）に専用のウェブサイトを開設し、パソコン等の機器を用いた甲および「甲と取引関係にある利用者様（以下「利用者」という）」との間で行う情報授受を行うシステムです。本「WebHOC利用規定」は、本サービスを利用する利用者の確認事項を定めています。

第1条（本サービスの内容）

- (1). 本サービスは、情報授受のツールを提供するものであり、データ等を管理するものではありません。
- (2). 本サービスの利用日および利用時間は、システムの維持・安全性の維持・その他必要な事由により本サービスを中断・停止する場合を除き、原則取扱日は1年365日（閏年366日）、利用時間は午前7時から午後11時までとしています。

第2条（利用の申込）

- (1). 本サービスの申し込みは、利用者が表記「WebHOC利用申込書」により「パスワード」他必要な事項を甲宛に届け出るものとし、甲はその内容を乙に提出します。
- (2). 本サービスでは、登録されている「ID番号」と「パスワード」との一致で確認（本人確認）を行います。
- (3). 「ID番号」と「パスワード」は、重要な情報です。パスワードの指定にあたっては推測可能な番号の指定は避けるとともに第三者に知られないように厳重に管理して下さい。
- (4). 「パスワード」の変更を行う場合は、甲所定の方法で行います。

第3条（免責事項）

- (1). 相当のシステム安全対策を講じていたにもかかわらず、システム、端末機、ならびに、通信回線等の障害により、本サービスの取り扱いに遅延・不能等が発生したために生じた障害について甲および乙は責任を負いません。
- (2). 通信経路における盗聴などにより、パスワードや取引情報等が漏洩したために生じた損害について甲および乙は責任を負いません。
- (3). システムの変更・災害等の不可抗力、その他やむを得ない事由により、本サービスのサービス取り扱いに遅延・不能等が生じたことに起因する損害について甲および乙は責任を負いません。
- (4). 本サービスでのサービス提供にあたり、乙が乙所定の確認手段を行ったうえで送信者を利用者とみなして取り扱いを行ったにもかかわらず、ID番号、パスワード等の偽造・変造・盗用または不正利用、その他の事故により生じた損害について甲および乙は責任を負いません。
- (5). 利用者が所有管理等の端末を利用し、端末が正常に稼動しなかったことにより生じた損害について甲および乙は責任を負いません。
- (6). 電子メールアドレスに変更が生じた場合は、甲所定の方法により変更するものとします。変更の届出が行われていないために甲からの通知等が到着しなかったことによる損害について甲および乙は責任を負いません。
- (7). マニュアルに記載されている所定の通信の安全性のために採用しているセキュリティ手段、盗聴等の不正利用等のリスク対策、および、本人確認手段について理解し、リスクの承諾のうえで、本サービスの利用を行うものとし、これらの処置にもかかわらず盗聴等の不正利用により利用者が損害を受けた場合、甲および乙は責任を負いません。

第4条（本サービスの停止）

- (1). システムの維持、安全性の維持、その他必要な事由がある場合は本サービスを休止することがあります。
- (2). 甲および乙の事情により本サービスを停止する場合があります。

第5条（同意事項）

- (1). 通知・確認・ご案内の手段として電子メールが利用されることに同意するものとします。
- (2). システムのメンテナンスや契約の履行を目的として乙が利用者の登録情報を閲覧することに同意します。

第6条（本サービス内容または本利用規定の変更）

甲、乙は、本規定の変更が相手方の一般の利益に適合する限り、又は、本規定の変更が、本サービスの目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性その他の変更にかかる事情に照らして合理的な範囲内で、本規定を変更することができるものとします。

以上